

サルプレップ配合内用液

【この薬は？】

販売名	サルプレップ配合内用液 SULPREP
一般名	無水硫酸ナトリウム (Anhydrous Sodium Sulfate)、硫酸カリウム (Potassium Sulfate)、硫酸マグネシウム水和物 (Magnesium Sulfate Hydrate)
含有量 (1本(480mL中))	無水硫酸ナトリウム 17.51g、硫酸カリウム 3.13g、硫酸マグネシウム水和物 3.276g

患者向医薬品ガイドについて

患者向医薬品ガイドは、患者の皆様や家族の方などに、医療用医薬品の正しい理解と、重大な副作用の早期発見などに役立てていただくために作成したものです。

したがって、この医薬品を使用するときに特に知っていただきたいことを、医療関係者向けに作成されている添付文書を基に、わかりやすく記載しています。

医薬品の使用による重大な副作用と考えられる場合には、ただちに医師または薬剤師に相談してください。

ご不明な点などありましたら、末尾に記載の「お問い合わせ先」にお尋ねください。

さらに詳しい情報として、PMDA ホームページ「医薬品に関する情報」
<https://www.pmda.go.jp/safety/info-services/drugs/0001.html> に添付文書情報が掲載されています。

【この薬の効果は？】

- ・この薬は、経口腸管洗浄剤と呼ばれるグループに属する薬です。
- ・この薬を飲んだ後に、続けて透明な飲み物を飲むことで、腸管内容物を排泄（はいせつ）させ大腸内視鏡検査をしやすくします。
- ・次の目的で処方されます。

大腸内視鏡検査時の前処置における腸管内容物の排除

- ・この薬は、指示どおりに飲むことが重要です。

【この薬を使う前に、確認すべきことは？】

- この薬の使用により、腸の中の圧力が上昇し、腸管穿孔（ちょうかんせんこう：腸に穴があく）をおこすことがあるため、排便や腹痛などの状況を確認しながら慎重に使用します。腹痛などの症状があらわれた場合は飲むのをやめ、ただちに受診してください。【この薬を使う前に、確認すべきことは？】、【この薬の使い方は？】、【この薬の使用中に気をつけなければならないことは？】に書かれていることに特に注意してください。
- ショック（冷汗がでる、めまい、顔面蒼白（そうはく）、手足が冷たくなる、意識の消失）またはアナフィラキシー（全身のかゆみ、じんま疹、動悸、息苦しい、喉のかゆみ、ふらつき）などの副作用があらわれることがあります。患者さんが自宅で飲む場合は、副作用があらわれたときの対応について、十分に理解できるまで説明を受けてください。
- 次の人は、この薬を使用することはできません。
 - ・過去にサルプレップ配合内用液に含まれる成分で、過敏症のあった人
 - ・胃腸管閉塞症（胃や腸が詰まった状態）又は腸閉塞（腸が詰まった状態）の疑いがある人
 - ・腸管穿孔（腸に穴があいた状態）のある人
 - ・胃排出不全の人
 - ・中毒性巨大結腸症（腸が異常に大きくなった状態）の人
 - ・腎臓に重度の障害のある人
- 次の人は、特に注意が必要です。使い始める前に医師または薬剤師に教えてください。
 - 以下の病気にかかっている、またはかかったことのある人
 - ・腸管狭窄（腸が狭くなって、食べたものが通りにくくなった状態）がある人やがんこな便秘の人
 - ・腸管憩室（腸に袋状のくぼみができた状態）のある人
 - ・過去に腹部の手術を行った人
 - ・電解質異常のある人
 - ・脱水を起こす可能性のある人
 - ・高マグネシウム血症の人
 - ・水などを誤って気道内に吸い込みやすい人
 - ・狭心症、陳旧性心筋梗塞の人
 - ・うっ血性心不全、心機能障害のある人
 - ・現在、重い腸炎のある人
 - ・高尿酸血症の人
 - ・腎臓に影響をおよぼす薬（利尿剤や血圧を下げる薬、非ステロイド性抗炎症薬など）を飲んでいる人
 - ・過去にけいれん発作を起こしたことがある人、けいれん発作の可能性のある人（三環系抗うつ薬などを使用している人、アルコールやベンゾジアゼピンの禁断症状がある人、過去に低ナトリウム血症になったことがある人またはその疑いのある人）
 - ・妊婦または妊娠している可能性がある人
 - ・授乳中の人
 - この薬には併用を注意すべき薬があります。他の薬を使用している場合や、新たに使用する場合は、必ず医師または薬剤師に相談してください。

- この薬による腸管洗浄が飲んだ薬の吸収を妨げる可能性があるため、他の薬を使用している場合は、その薬の使用時間について医師または薬剤師に相談してください。
- 糖尿病の薬を使用している人で、糖尿病用薬を休薬した場合は、検査終了後の初めての食事後から糖尿病用薬を使用するようにしてください。
- 日常の排便状況を確認し、この薬を飲む前日あるいは飲む前にも通常程度の排便があったことを確認したのちに飲み始めてください。排便がない場合は、医師または薬剤師に相談してください。
- 自宅で飲む場合は、副作用があらわれたときに対応が困難な場合があるので、一人では飲まないでください。
- 他の医師を受診する場合や、薬局などで他の薬を購入する場合は、必ずこの薬を飲む予定であることを医師または薬剤師に伝えてください。

【この薬の使い方は？】

●使用量および回数

この薬を飲む方法には次の2つの方法があります。
飲む量および飲む日時は、医師が決めますので、医師の指示に従って服用してください。

【検査当日に服用する場合】

検査前日の食事

- ・検査前日の夕食後は、水分以外をとらない様にしてください（絶食）。

飲み方

- ・検査開始予定時間の3時間以上前から飲み始めます。

1本目：

- ・この薬480mLを30分かけてゆっくり飲んでください。
- ・この薬を飲み終わった後、水又はお茶約1Lを60分かけてゆっくり飲んでください。

2本目：

- ・この薬240mLを15分かけてゆっくり飲んでください。
- ・この薬を飲み終わった後、水又はお茶約500mLを飲んでください。
- ・排泄液が透明になるまでもう一度繰り返します。
- ・2回目の途中で排泄液が透明になった場合、その時点で薬は飲み終わりとし、飲んだ薬の倍量の水又はお茶を飲んでください。
- ・この薬を飲む量は合計960mLまでです。

【検査前日と当日に分けて2回服用する場合】

検査前日の食事

- ・検査前日の夕食はこの薬を飲み始める3時間以上前に終了するようにしてください。
- ・夕食後は水分以外をとらないようにしてください（絶食）。

飲み方

検査前日の夜

- ・この薬480mLを30分かけてゆっくり飲んでください。

- ・この薬を飲み終わった後、水又はお茶約1 Lを60分かけてゆっくり飲んでください。

検査当日の朝

- ・検査開始予定時間の2時間以上前から飲み始めます。
- ・この薬240 mLを15分かけてゆっくり飲んでください。
- ・この薬を飲み終わった後、水又はお茶約500 mLを飲んでください。
- ・排泄液が透明になるまでもう一度繰り返します。
- ・排泄液が透明になった時点で薬は飲み終わりとし、飲んだ薬の倍量の水又はお茶を飲んでください。
- ・この薬の飲む量は検査前日、当日から合わせて960 mLまでです。

●どのように飲むか？

- 使用量および回数を参照してください。

●飲み忘れた場合の対応

指定された時間に飲み忘れた場合は、医師に相談してください。

●多く使用した時（過量使用時）の対応

激しい下痢、重篤な電解質異常が発現するおそれがあります。過量に服用してしまった場合には症状に注意し、異常を感じたら、医師または薬剤師に相談してください。

【この薬の使用中に気をつけなければならないことは？】

- 腸管穿孔、腸閉塞、虚血性大腸炎およびマロリー・ワイス症候群を起こすことがあるため、次の点に注意してください。
 - ・この薬は480 mLを30分以上かけてゆっくり飲むようにし、短時間に服用することは避けてください。
 - ・この薬を飲んでいいる間に、腹部にガスがたまってお腹が張ったり、腹痛、吐き気、嘔吐（おうと）などの何らかの異常を感じた場合には、飲むのをやめ、医師に連絡してください。
 - ・この薬を飲んで排便があった後も腹痛、嘔吐が継続する場合には、腹部の診察や画像検査（単純X線、超音波、CT等）を行い、腸管穿孔などがないか確認することがあります。
- 電解質異常を示す何らかの反応が認められた場合、電解質濃度を測定し、必要に応じて処置を行うことがあります。
- 排便に伴う腸管内圧の変動により、めまい、ふらつき、一過性の血圧低下等がみられることがあるので、十分に注意してください。
- 飲み始めは特にゆっくり飲むようにし、消化器症状（腹痛、吐き気、嘔吐など）やショック、アナフィラキシーなどの副作用があらわれた場合は、飲むのをやめ、ただちに医師に連絡してください。また、飲み終わった後においても、同様の症状があらわれることがあるので、あらわれた場合は、ただちに医師に連絡してください。

副作用は？

特にご注意いただきたい重大な副作用と、それぞれの主な自覚症状を記載しまし

た。副作用であれば、それぞれの重大な副作用ごとに記載した主な自覚症状のうち、いくつかの症状が同じような時期にあらわれることが一般的です。このような場合には、ただちに医師または薬剤師に相談してください。

重大な副作用	主な自覚症状
ショック	冷汗が出る、めまい、顔面蒼白、意識の消失、手足が冷たくなる
アナフィラキシー	全身のかゆみ、じんま疹、動悸、息苦しい、喉のかゆみ、ふらつき
腸管穿孔 ちょうかんせんこう	吐き気、嘔吐、激しい腹痛、寒気、発熱、ふらつき、息切れ、意識の低下
腸閉塞 ちょうへいそく	嘔吐、便やおならが出にくい、お腹が張る、腹痛、吐き気
単径ヘルニア嵌頓 そけいヘルニアかんどん	足の付け根の強い痛み、足の付け根がふくらんだまま戻らない、腹痛、嘔吐、吐き気、発熱、意識の低下
低ナトリウム血症 ていナトリウムけっしょう	意識の低下、頭痛、吐き気、嘔吐、けいれん
虚血性大腸炎 きょけつせいだいちょうえん	血が混ざった下痢、急激な腹痛
マロリー・ワイス症候群 マロリー・ワイスしょうこうぐん	血を吐く、吐いた物に血が混じる
失神 しっしん	短時間、意識を失い倒れる
意識消失 いしきしょうしつ	意識の消失
高マグネシウム血症 こうマグネシウムけっしょう	吐き気、気力が出ない、体に力が入らない、息苦しい、お腹が張る

以上の自覚症状を、副作用のあらわれる部位別に並び替えると次のとおりです。これらの症状に気づいたら、重大な副作用ごとの表をご覧ください。

部位	自覚症状
全身	ふらつき、発熱、けいれん、体に力が入らない、冷汗が出る、寒気
頭部	めまい、頭痛、意識の低下、意識の消失、気力が出ない、短時間、意識を失い倒れる
顔面	顔面蒼白
口や喉	吐き気、嘔吐、喉のかゆみ、血を吐く、吐いた物に血が混じる
胸部	動悸、息切れ、息苦しい
腹部	激しい腹痛、腹痛、お腹が張る、急激な腹痛
手・足	手足が冷たくなる、足の付け根の強い痛み、足の付け根が

部位	自覚症状
	ふくらんだまま戻らない
皮膚	全身のかゆみ、じんま疹
便	便やおならが出にくい、血が混ざった便

【この薬の形は？】

販売名	サルプレップ配合内用液
形状	液剤
色	無色澄明
性状	無色澄明の液体で、わずかにレモンの芳香を有する。
製剤の形状	

【この薬に含まれているのは？】

有効成分	無水硫酸ナトリウム、硫酸カリウム、硫酸マグネシウム水和物
添加剤	安息香酸ナトリウム、タウマチン、スクラロース、サッカリンナトリウム水和物、グリシン、DL-リンゴ酸、クエン酸水和物、香料

【その他】

●この薬の保管方法は？

- ・直射日光と湿気を避けて室温（1～30℃）で保管してください。
- ・子供の手の届かないところに保管してください。

●薬が残ってしまったら？

- ・絶対に他の人に渡してはいけません。
- ・余った場合は、処分の方法について薬局や医療機関に相談してください。

【この薬についてのお問い合わせ先は？】

- ・症状、使用方法、副作用などのより詳しい質問がある場合は、主治医や薬剤師にお尋ねください。
- ・一般的な事項に関する質問は下記へお問い合わせください。

製造販売会社：日本製薬株式会社

(<https://www.nihon-pharm.co.jp/>)

くすり相談窓口

電話：0120-00-8414

受付時間：9時～17時30分(土日祝日・弊社休業日を除く)